

第4学年 算数 評価規準表

観点		知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
単元等				
4 月	1 大きい数	億、兆の単位と表し方、数の読み方や書き方を知り、整数は十進位取り記数法で表されていることを理解している。また、兆の位までの数を、万、億、兆の単位を用いて読んだり書いたりできる。	十進位取り記数法の考えをもとに、数の大小比較をしたり、倍の関係を調べたりしながら、数の仕組みを考えている。	身の回りの大きい数に関心をもち、十進位取り記数法の考えをもとに、数の仕組みを調べようとしている。
	2 折れ線グラフ	折れ線グラフのかき方や折れ線の傾きの意味を理解している。また、折れ線グラフは、2つの数量の変化のようすをわかりやすく表すことができることを理解し、正確にグラフをかき、線の傾きから変化のようすを読み取ることができる。	目盛りのとり方を変えると、グラフの変化がよくわかることに気づき、グラフのかき方を工夫し、グラフから、統計的な特徴や傾向について考えている。	身の回りの変化する量を、折れ線グラフに表して変化の特徴や傾向を調べようとしている。
5 月	3 (2けた) ÷ (1けた) の計算	48 ÷ 3の計算のしかたを、絵や図を使ってかき表すことができる。	48 ÷ 3の計算のしかたを、具体物や図、式を用いて、被除数を分割して考えている。	48 ÷ 3の計算を既習事項を用いて、計算のしかたを考えようとしている。
	4 1けたでわるわり算	筆算は、たてる、かける、ひく、おろすの順にしたがって計算することを理解している。 (2, 3位数) ÷ (1位数)の計算が筆算で正しくできる。	既習の計算のしかたをもとに、(2, 3位数) ÷ (1位数)の計算のしかたを、具体物や図、式を用いて、考えている。	除法の筆算形式のよさに気づき、進んで筆算しようとしている。
6	5 角	回転の大きさを表す量としての角の意味や、角の単位「度(°)」や測定の意味を理解し、角の大きさの見当をつけるなど、角の大きさについての豊かな感覚をもつことができる。また、180°までの角、及び180°より大きい角を測ったり作ったりできる。	角の大きさも、他の量と同様に単位とする大きさを決め、そのいくつ分で測ればよいと考えている。	身の回りから大きい角、小さい角を見つけたり、それらを比べたりしようとしている。

月	6	垂直・平行と四角形	垂直・平行の意味, 台形, 平行四辺形, ひし形の定義や性質, 対角線の意味を理解して, 正しく作図することができる。また, 敷き詰め的活動を通して, できた模様的美しさを感じるなど, 図形についての豊かな感覚をもつことができる。	垂直・平行という観点で, 2直線の関係を考えている。四角形について, 違いに気づき分類し, 分類した観点や分類した図形ごとの特徴を見出している。	2直線の関係や図形の構成要素に着目している。いろいろな四角形を調べたり, 作図したりしようとしている。
7	7	2けたでわるわり算	除数が2位数の場合も, 除法の計算ができることを理解し, 除法の仮商の立て方や筆算のアルゴリズムを理解しており, その通りに計算できる。	除法に関して成り立つ性質などをもとに, 具体物や図, 式を用いて, 計算のしかたを考えている。	\div (2位数)になっても, \div (1位数)の除法と同じように計算できると考え, 問題を解こうとしている。
月		〇倍の計算 とんだ長さ	いろいろな場面の2量について, 倍を使った表し方, 何倍にあたる量の求め方を理解している。また, 倍や何倍にあたる量を計算で求めることができる。	もとにする量で他方の量をわったときの商は, その量をもとにする量の何倍かを表す数であると考えている。	2つの量を, 一方が他方の何倍かという見方で表そうとしている。
9	8	がい数	概数にする理由や四捨五入, 切り捨て, 切り上げのしかた, 概算のしかたを理解しており, 実際に行うことができる。	具体的な場面に応じて, 概数にしたり概算をしたりする必要があるかを考えている。また, 場面に応じてどのくらいの概数にするかや, 概算のしかたを考えている。	概数や概算を日常生活の場面から見つけようとしている。
月	9	しりょうの整理	二次元表の資料の読み取り方を理解している。観点を2つ決め, 必要な項目ごとに資料を分類整理できる。	2つの事項が関係している場合は, 2つの観点を分類整理すればよいと考えている。また, 表から, 資料の特徴について考えている。	どのような観点を分類整理したらよいか考えながら, 表をまとめようとしている。
10	10	小数	小数の仕組みや, 加法や減法の計算のしかたを理解し, 簡単な計算ができる。また, 小数第三位までの数を表すことができる。	小数の表し方や計算のしかたが, 整数の場合と同じようにできることに気づき, 具体物や図を用いて考えている。	端数部分を数値化する必要性を感じ, 小数の加法及び減法の計算のしかたを考えようとしている。

月	1 1 式と計算	四則混合の式では、()や乗除部分を先に計算することを理解している。計算順序のきまりにしたがって、正しく計算することができる。また、□や△などの記号を用いて、計算法則を表すことができる。	具体的な場面から、複数の演算の統合のしかたを考えている。また、□や△などの記号を用いると、計算法則を簡潔、一般的に表せることを見出している。	四則混合の式や()を用いた式を適切に用いようとしている。また、□や△などの記号を用いると、交換法則や結合法則、分配法則を簡潔、一般的に表せることに気づき、それを活用しようとしている。
	11	1 2 整数の計算	既習の計算方法を振り返り、整数の四則計算の理解を深めることができる。	既習の計算方法と同じ方法で進められることに気づいている。
月	1 3 面積	面積の単位と測定の意味がわかり、面積の求め方や単位の間接関係を理解している。長方形や正方形の面積を、公式を使って求めることができる。	単位面積を用いて、広さを数値化する方法を考え、図や数、式を用いて表し、正方形や長方形の面積公式を導き出している。面積の単位間の違いを考えている。	面積の大きさを数値化して表すことのように気づき、身の回りのいろいろな形の面積を求めようとしている。
12	1 4 計算のしかたを考えよう	乗数や除数が整数の場合の、小数の乗法と除法の計算のしかたを理解している。	1.2×3 と $5.4 \div 3$ の計算のしかたを、0.1を単位としたり、乗法や除法のきまりを使ったりして考えている。	1.2×3 と $5.4 \div 3$ の計算を、既習事項を用いて、計算のしかたを考えようとしている。
	1 5 小数のかけ算とわり算	乗数や除数が整数の場合の小数の乗法及び除法の意味と計算のしかたを理解し、筆算でできる。また、除法の余りのあるときの処理のしかた、商を概数で求める方法を理解している。	乗数や除数が整数の場合の小数の乗法及び除法の意味や計算のしかたを、整数の乗法や除法の計算のしかたをもとに、具体物や図、式を用いて考えている。	乗数や除数が整数の場合の小数の乗法及び除法は整数の乗法及び除法と同じように考えられることに気づき、それを活用しようとしている。
月	倍の計算 ポッチャにトライ	いろいろな場面の2量について、小数を用いた倍を使った表し方、何倍にあたる量の求め方を理解し、倍や何倍にあたる量を計算で求めることができる。	小数においても、もとにする量で他方の量をわったときの商は、その量のもとにする量の何倍かを表す数であると考えている。	2つの量を、一方が他方の何倍かという見方で表そうとしている。
1	1 6 そろばん	そろばんには十進位取り記数法の仕組みが用いられていることを理解し、数の表し方、計算のしかたを理解し、簡単な加法や減法の計算ができる。	そろばんの仕組みをもとに、億や兆、 $1/100$ までの位の数を表すことで、十進位取り記数法の仕組みを考えている。	そろばんの仕組みや使い方に関心を持ち、進んでそろばん計算しようとしている。

月	1 7	分数	数直線をもとに、分母が違ってても大きさの等しい分数があることや、同分母分数の加法及び減法の計算のしかたを理解している。 数直線を使って、大きさの等しい分数を見つけることができ、同分母分数の加法及び減法の計算ができる。	分数の大きさや、同分母分数の加法及び減法の計算のしかたを、図を用いて考えている。	異分母で大きさの同じ分数があることに気づき、同分母分数の和や差を求めようとしている。
	2	1 8	直方体と立方体	直方体や立方体の定義を知り、直方体や立方体の辺や面の垂直・平行の関係を理解している。 直方体や立方体の見取図や展開図をかきすることができる。 ものの位置の表し方について理解している。	立体図形の構成要素やそれらの位置関係に着目し、図形ごとの特徴を見出している。また、見取図や展開図のかき方を考えている。 空間にあるものの位置の表し方について考えている。
月		1 9	ともなって変わる量	伴って変わる2つの数量の関係を考察するためには、対応する2つの値を表や式、グラフに表したりするとよいことを理解している。また、表や式、グラフに表すことができる。 数量関係を比べる場合に、割合を用いる場合があることを理解している。	2つの数量の間に一定の関係があることを、表から対応のきまりを見出したり、□や△を用いた式に表したりして考えている。また、グラフから、数量の変化の特徴を考えている。
	3	○倍の計算	ゴムの長さ	簡単な場合について、ある2量の関係と別の2量の関係とを比較する場合に、数量の差で見ることや、乗法的関係で見ることがあることを理解している。	図や式から、ある2量の関係と別の2量の関係との違いを考えている。
月		2 0	しりょうの活用	目的に応じたデータを集めて、分類整理して表に表したり、読んだりすることができる。 また、複数系列のグラフや組み合わせたグラフについて、それを表したり、表したグラフから特徴を読み取ったりすることができる。	目的に応じてデータを集めて分類整理する方法を考え、適切なグラフを選択し、特徴について判断したり考察したりしている。
	2 1	4年のまとめ	4年で学習した用語や定義、性質を理解し、計算や作図ができる。	4年の学習に関する見方や考え方を確かめたり、その関係を考えたりしている。	4年で学習したことに進んで取り組み、学習のまとめをしようとしている。